

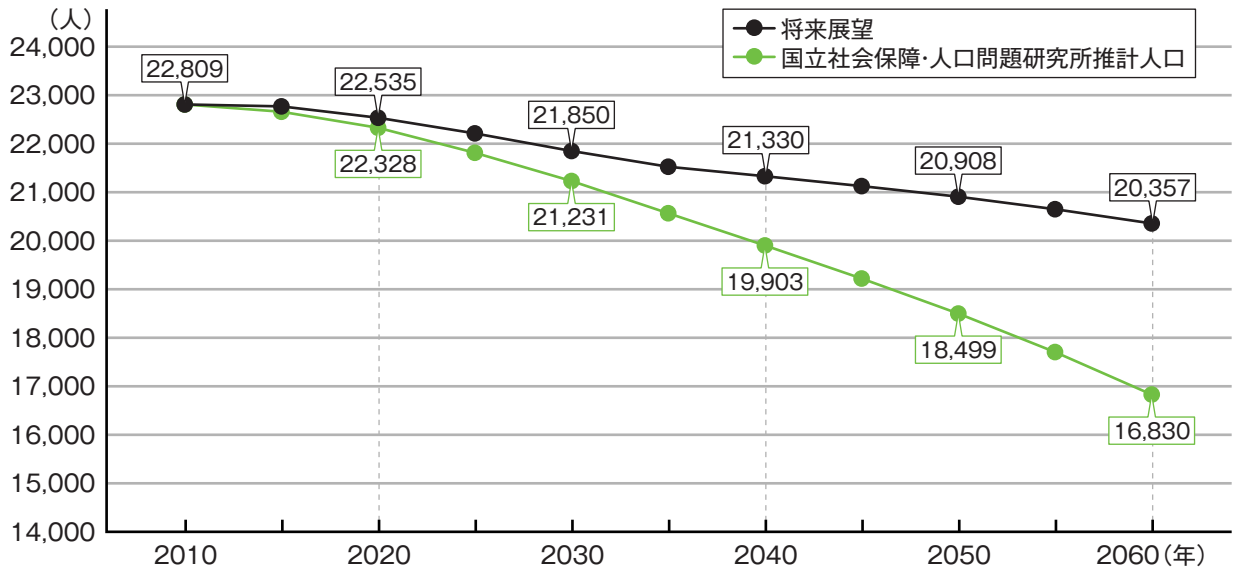
## 5 人口ビジョンと総合戦略の全体像

### (1) 人口ビジョン

#### ○目指すべき将来の方向性

- ・ ベッドタウンとしての住みやすさの向上と働く場の創出
- ・ 交通の利を活かした交流とにぎわいの創出
- ・ 町民の結婚、出産や子育ての希望をかなえられる環境の確立
- ・ 笠松町に生まれ育つことに誇りが持てる意識の醸成
- ・ すべての世代が明るく元気に暮らせる安心・安全な生活環境の整備

#### ○人口の将来展望



国立社会保障・人口問題研究所によると、笠松町の人口は一貫して減少し、2060年には16,830人まで減少すると推計されています。

結婚、出産や子育てに関する希望をかなえ、合計特殊出生率を改善します。転出の多い30代の転出を抑制することで、人口減少の速度が緩やかになり、2060年に人口20,357人を維持することができます。

#### 推計の条件

- ・ 合計特殊出生率を2030年に1.747、2040年に2.07を達成する。
- ・ 2040年までに30代の転入と転出を均衡させる。  
※結婚、出産、移動は個人の考え方や価値観が尊重されることが前提です。合計特殊出生率等の目標は町の施策の効果を検証・評価するために設定するものであり、個人の目標ではありません。

### (2) 総合戦略の全体像

笠松町の強みを活かし、人口ビジョンに掲げる将来展望を実現するため、戦略の基本方針を設定し、この方針に基づく今後5年間の基本目標を定めます。

## 基本方針 ～総合戦略が目指すもの～

“ひと・まち・自然” 輝く創造文化都市～道徳心の醸成と人の交流を通じたまちづくり～

#### 基本目標1 仕事をつくる

- ・ 地域産業の活性化と働く場の創出
- ・ 魅力ある雇用環境の積極的なPR

#### 基本目標2 笠松に呼び込む

- ・ 若者・子育て世代の移住定住の促進
- ・ 魅力創出等を通じた交流人口の増加

#### 基本目標3 ひとを育む

- ・ 安心して産み育てることができる環境整備

#### 基本目標4 安心な暮らしをつくる

- ・ すべての世代が安心して暮らせる社会の実現
- ・ 誰もが生きがいを持って支え合うことができる社会の実現
- ・ 地域間・都市間で有機的に繋がる社会の実現